

『銀の匙』の作家中勘助 思い出と代表作の考察



中勘助と講師の奥山和子氏
(中学生頃) 別荘の前庭で
『緑の作家、中勘助—顕彰誌—』(静岡市)より

講師の奥山和子先生は、幼少時から、中さんに可愛がられ、薫陶を受けました。日本女子大学国文科を卒業され、文筆家として活躍されています。最近では『銀の匙』にも書かれている兄金一との確執を題材として、静岡新聞社から『地獄の道づれ』を発行されました。易しく書かれ、読みやすい本で、大変好評です。今回の講演は、中さんの訾咳に触れた人が少なくなるなかで、奥山先生から「普段着の中さん」のお話と、『銀の匙』やインド三部作『提婆達多』『犬』『菩提樹の蔭』についてのお話をお聞きします。

- ☆ 共 催 平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会:平塚市中央図書館
- ☆ 日 時 令和4年10月15日(土)
午後1時30分から午後3時まで(開場 午後1時)
- ☆ 会 場 平塚市中央図書館 3階ホール(平塚市浅間町 12-41)
・手話通訳・要約筆記あり、駐車場あり(駐車場は有料)
- ☆ 講 師 文筆家 奥山 和子氏
- ☆ 定 員 40名(先着順)
- ☆ 参加費 300円(資料代として)当日受付にて集金します
- ☆ 申込期間 令和4年9月21日(水)午前9時から、定員に達するまで
- ☆ 申込・問合せ先 平塚市中央図書館

電話 0463(31)0428 または FAX 0463(31)9984

受付時間:開館日の午前9時から午後5時まで(9月26日、10月3日、11日は休館です)

申込内容:「中勘助講演会申込」として、参加希望者全員の氏名、連絡先(電話番号・FAX番号)

お申込みいただいた内容はこの講座の受付及び新型コロナウイルス陽性者が出た場合の連絡にのみ使用します。新型コロナウイルス感染防止対策として、受付での検温、手指消毒、講演中のマスク着用等にご協力お願いいたします。
記録のため、会場内での撮影・録画を予定しております。

講師 文筆家 奥山和子先生 略歴

- ☆1944[昭和19] 神奈川県横須賀市大津生まれ、その後、静岡市葵区羽鳥の家で幼児から高校卒業まで暮らした。昭和42年日本女子大学文学部国文学科卒業し、静岡女子大学短期大学助手、駒澤大学司書、タツノコプロ(アニメ制作・児童文学)に務め、この頃から「日通文学」の同人となり、『大方様覚書』で日通文学賞を受賞した。
- ☆平成10年、母と共に伯父・伯母の介護をするため、静岡市葵区羽鳥に帰省。この頃から「静岡市立中勘助文学記念館」の事業に関わる。この年「全作家」の同人となる。平成19年3月「短編小説選集」「隨筆選集」「短歌・俳句選集」を「全作家」に掲載。平成29年1月15日『地獄の道づれ』静岡新聞社発行、作家出版賞受賞。令和3年には『ウルエちゃん』「しずおか市民文芸 第16号」掲載。静岡市長賞受賞。